

報道関係者 各位

令和8年10月21日

【照会先】

健康・生活衛生局 感染症対策部 感染症対策課
感染症情報管理室長 大塚 和子（内 2389）
課長補佐 小谷 聡司（内 2373）
（電話・代表）03(5253)1111

薬剤耐性(AMR)に関する記者勉強会のお知らせ

薬剤耐性（Antimicrobial Resistance: AMR）について十分な対策が実施されない場合、「2050年までに全世界で毎年1,000万人が、抗菌薬が効かない細菌（薬剤耐性菌）による感染症で死亡し、がんによる死亡者数を上回る」と報告されています（オニールレポート）。また、世界保健機関によると、2021年には薬剤耐性菌が、全世界で470万人以上の死亡に関連していたと推定されております。

弊省としては、AMRは社会が一丸となって向き合わねばならない喫緊の課題と認識しています。

つきましては、日々報道に携わる記者の方々に向けて、AMRについての理解を深め、広く情報を発信していただくことを目的とした勉強会を開催しますので、ぜひご参加ください。

記

開催日時：令和8年10月27日（火） 14:00 ～ 14:40（質疑応答込み）

開催方法：ZOOMを使用したWEB会議形式で実施（事前申し込みは不要）

1. 記者勉強会オンライン URL

■URL：（URLは下記、感染症対策課広報担当までメールでお問い合わせください）

■開催日時：令和8年10月27日（火） 14:00

2. 勉強会資料（メディア・キット）

資料はZOOM入室後、勉強会開始前までにZOOMチャットにてご案内、ご送付いたします。

なお、勉強会途中および終了間際にも、同チャットにてご案内、再送付いたします。

開催内容：

1. イントロダクション及び厚生労働省の施策		(10 分)
薬剤耐性（AMR）の対策アクションプランの概要と、成果指標の現状、抗菌薬の使用量の評価方法に係るこれまでの議論について説明します。	厚生労働省 健康・生活衛生局 感染症対策部 感染症対策課 課長補佐 渡邊 麻由	
2. 日本の抗菌薬使用の現状		(10 分)
日本の抗菌薬使用の現状について解説します。	国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター AMR 臨床リファレンスセンター 薬剤疫学室 室長 都築 慎也 先生	
3. AMR 対策において感染予防・管理（IPC）が果たす役割		(10 分)
薬剤耐性（AMR）対策における感染予防・管理（IPC）の役割、日常診療における感染対策の取組について解説します。	板橋中央総合病院 院長補佐 坂本 史衣 先生	
4. 質疑応答		(10 分)

※内容はあくまで予定であり、変更する場合があります。

【留意事項】

- ・ 参加は報道関係者の方に限らせて頂きます。なお、事前申し込みは不要です。
- ・ **13 時 50 分から入室**していただけます。
- ・ 入室の際には、アカウント表示を「**社名(媒体名)_名前**」としていただくようお願いします。**(情報が確認できない場合は、入室許可できない場合もございます)**
- ・ マイクをミュート、カメラをオフ状態にしてくださいようお願いします。
- ・ 質問は全て、チャットにてお受けいたします。（記者勉強会中に記載いただいても結構です）

【お問い合わせ先】

感染症対策課 広報担当

e-mail : kansensho-koho@mhlw.go.jp